

滋賀医大の卒業生のみなさん!

新入生の「里親」になりませんか?



里親とは?

医学科、看護学科のいずれかの1回生とマンツーマンで。

将来**滋賀県内で働くことに興味**を持っている**滋賀医大の新入生**に対して、
県下で活躍する一先輩として、日々の学習、**クラブ活動**などの学生生活や、
将来の進路などの相談にのる**アドバイザー** (のようなもの) です。

過疎地に限らない
滋賀県下の全域が
対象です。

地域の現状に即した、
実践的な診療科の
選択相談など

一方的なアドバイスではなく、
交流を通じて滋賀医大の現状や
いまどきの学生気質を知る
チャンスです!

出身クラブの後輩を
選んでもよし。

実際に何をするの?

- **まずは月に2回ほど、決められた「話題」について学生とEメールを交換する。**

まずは学生とうち解けてもらうことが目的です。

やりとりを学生から始める話題の例としては「志望する専門領域は?内科、外科、それとも?」や、
里親からの例では「人前ではいけない学生時代の思い出…」など。

- **その後、学生と実際に会う。** (いわゆるオフ会のようなものです)

勤務先の医療施設の見学でも、ご自宅訪問でも構いません。

- **さらにプチ里親たちと学生たちの交流会、支援室主催の講演会などに参加する。**

「プチ里親」について：卒業生が「里親」となるのに対して、県下の一般住民の方々には「プチ里親」となっていたら、医療以外の『地域の生活や環境、歴史』などを学生に紹介する役割などを担ってもらいます。

「里親」の方々も交流会・講演会にできるだけご参加ください。

